

救急服仕様書

この仕様書は、佐倉市八街市酒々井町消防組合が令和8年度において購入する救急服について定めたものである。

なお、細部については、すべて当組合の承認又は指示を受けること。

記

1 品名及び数量

(1) 冬上衣	30着
(2) 冬ズボン	50着
(3) 夏長袖上衣	23着
(4) 夏半袖上衣	20着
(5) 夏ズボン	76着
(6) バンド (バックル式)	26本
(7) バンド (2本ピン式)	24本

2 使用素材

(1) 品名及び品番	上衣	(冬) テイジン ピッケ T-85440
		(夏) テイジン ピンホール・トロピカル T-85439
	ズボン	(冬) テイジン サキシニー TJ204B
		(夏) テイジン トロピカル TJ204C

若しくは、同等品以上のもの

ア 上衣の混紡率等は、下記のとおり

(ア) 混紡率	冬表	ポリエステル 100%	冬裏	ポリエステル 70%	綿 30%
	夏	ポリエステル 100%			
(イ) 番手(経×緯)	冬	150DE×33/2	夏	150DE×33/2	
(ウ) 密度	冬	460本×290本以上 10cm間	夏	220本×190本以上 10cm間	
(エ) 引張強度	冬	100×55kg以上	夏	100×90kg以上	

(オ) 色相 グレー指定色

(カ) 洗濯収縮率 1.5%以下

(キ) 染色堅牢度 4級以上

イ ズボンの混紡率等は、下記のとおり

(ア) 混紡率	ウール 30%	ポリエステル 69.5%	制電繊維 0.5%	
(イ) 番手(経×緯)	冬	2/52×2/52	夏	2/60×2/60
(ウ) 密度	冬	275本×235本以上 10cm間	夏	215本×195本以上 10cm間
(エ) 引裂強力	冬	経 833N×緯 735N 以上	夏	経 686N×緯 539N 以上
(オ) 色相	濃グレー系色			
(カ) 洗濯収縮率	2%以下			
(キ) 染色堅牢度	4級以上			

- ・ 上衿は、台衿共接着芯を張り地縫いの上飾り縫いをする。
- ・ 衿巾は、中央で上衿約4.5cm、台衿は3.5cm、衿先巾は、約6.8cmとする。

イ 前身頃

- ・ 左上前は比翼仕立てとし、前合わせの開閉はファスナー式とする。
- ・ 上前にA面、下前にB面（幅約20mm、長さ30mm）の面テープを3箇所縫い付ける。
- ・ 裾は三ツ巻きとし、左右ポケット下（ウエスト部分）に深さ約1.8cmのタックを付ける。

ウ 胸ポケット

- ・ 左右各1箇所で中央にひだを内側にとり、雨蓋付きループボタン及びマジックテープ併用止めとする。
- ・ 左側は、雨蓋にペン差し穴を付けポケットにペン用の巾2.5cmのステッチをかける。

エ 後身頃

- ・ 後身頃は一枚裁ちとし、左右袖付けより約7cmの所に深さ3cmのタックを外向きに付ける。
- ・ タックの下部を中側より縫い、裾は三ツ巻き縫いとする。
- ・ 脇合わせはインターロック縫いをする。

オ 袖

- ・ 袖口から約17cmまで16cmのファスナーを付ける。
- ・ 袖は一枚裁ちとし、タック2本とり、カフスを付ける（約5.5cm×23cm）。
- ・ 左側の肩より約8cm下りで袖山中央より前側に幅約5cm高さ16cmの2本入りペン差し用アウトポケットを縫い付ける。
- ・ ペン刺しアウトポケットは、端ミシンで縫い付ける。
- ・ 袖口の開きは、約10.5cmとする。

カ 袖付け縫い

- ・ 縫い付けは、筒状で縫い付ける（インターロックミシン）。
- ・ 袖の縫い合わせは、地縫いの上オーバーロックミシンかがりとする。

キ 肩当て

- ・ 巾は中央で約10.5cmとし前身頃、後身頃共はさみ縫いの上、表一条の飾り縫いとする。

ク 肩章

- ・ 接着芯を張り地縫いの上、飾りミシン縫いをし、肩当ての先端に揃え袖付け時に内に縫い込む先端に、ネムリ穴をあける。

ケ 片布

- ・ 左上前身頃胸ポケット裏側に品質クロスを挟み縫い付ける。

コ 衿吊

- ・ 衿付け中央にサイズマークと共にはさみ縫いする。

サ 階級章棚

- ・ 右ポケット上部に、マジックテープ（2.5cm×4cm、白）を縫い付ける。

シ その他

- ・ 右袖にエンブレムを貼り付けるマジックテープ（白）を縫い付ける。（肩の縫い目から約5cmの位置に縫い付ける。）
- ・ 左胸ポケット上部に、布製ネームを貼り付けるマジックテープを縫いつける。

- ・ 背面に紺色文字で2段に入れ、上段には丸ゴシック文字で「佐倉消防」とし、下段には角ゴシック文字で「SAKURA YACHIMATA SHISUI」と記入する。(細部については、担当者と協議すること。)
- ・ 救急救命士の上衣については、ネーム刺繍の上に「救急救命士」の文字が貼れるマジックテープを縫い付ける。

(2) ズボン

ア タック

- ・ 前身は左右各1本を外向きにつける。深さは約2cm。
- ・ 後身は左右各2本を縫い付けしでとる。

イ 腰帯

- ・ 巾4cmとし芯地入りで腰裏をつけおとしミシンがけとする。
- ・ 両脇に前カンをつける。
- ・ ウエスト伸縮構造(裏ゴム伸縮式)を用いて左右約2cm拡張できるものとする。

ウ 前立て・天狗

- ・ 前立ては芯地を張りファスナーを縫い付ける。
- ・ 天狗は上部に天狗の鼻をつけ穴かがりカン止めとする。
- ・ 前身との間にファスナーを挟み縫いする。
- ・ ファスナー下部の止まりにかんぬき止めをする。

エ 脇ポケット

- ・ 芯地入りの斜め切りポケットを左右につけ、口は0.6cmの飾りミシン縫いとする。
- ・ ポケット口巾は約1.8cm、深さは上部カン止めより約2.9cm、袋巾は約1.6cmとし、向当て布をつけ上下口端をかん止めする。
- ・ 右ポケット内側に小物ポケット入れを付ける。

オ 尻ポケット

- ・ 上端より9cm下りに口巾1.6.5cm、深さ約1.9cmのポケットを左右両側に付ける。

カ 膝裏

- ・ 腰帯下部より膝下まで左右前身にオーバーロックでかがり縫い付ける。

キ 相引き・内股縫い

- ・ 裁目は、オーバーロックかけ相引きとする。
- ・ 内股は、1本針、二重環縫い、または1回縫いとする。

ク ベルト通し

- ・ 巾5cmのものを左右及び後中心3箇所巾2.5cmをその間に縫い付ける。
- ・ 巾5cmのものは、下部を三角に上部を浮かせて付ける。

ケ 尻縫い

- ・ 尻ぐりは、1本針、二重環縫い、または2回縫いとする。

コ 棒シック

- ・ 天狗裏続きとする。

サ 裾口

- ・ ハーフ仕上げとする。

シ 片布

- ・ 右脇ポケット袋地に織りマークと共に縫い付ける。

7 その他

- (1) 採寸については、佐倉市八街市酒々井町消防組合が指定する場所に出向いて行

うこと。

(2) 納品について

ア 納入期限

契約日から令和9年2月26日までとする。

イ 納品及び検査

本部担当者の検査を受け、所属ごとに納品すること。